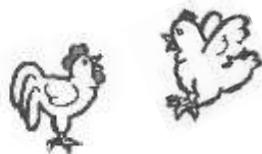


## 「天井からジネズミ」(J4894)

佐伯 元子／文 あべ 弘士／絵 学研教育出版



小指の先ほどの灰色の生き物が、天井のあなから落ちてきた。図鑑で調べてみたらモグラの仲間で、木に登ることもある「ジネズミ」のようだ。育てることにしたものの、野生の小動物を飼うのはとても難しい。渡り鳥の調査をしながら生活する著者のジネズミ育て大ふんとう記。



## 「かえでがおか農場のなかまたち」(EE7)

アリス・プロベンセン／作・絵

マーティン・プロベンセン／作・絵 乾 侑美子／訳 童話館出版

かえでがおか農場には、たくさんの動物が住んでいる。ネズミのしっぽをプレゼントしてくれるネコや子どもがきらいなオンドリ、石を運ぶことが好きなイヌ。動物にも人間と同じように、おもしろいくせや性格があるんだ。本を開けば農場で動物たちが待っている。何度でもくり返し読みたくなる絵本。



毎月23日は「家庭読書の日」 狭山市教育委員会

図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。休館日や開館時間、イベント等の最新情報もこちらからご確認ください。



狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646  
狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801  
狭山市公式HP <http://www.city.sayama.saitama.jp/>



# よむぞうタイムズ

82号

5年生 6年生

狭山市立図書館 2021.12.1発行

きみは、動物が好き？

家で過ごす時間が多くなって、ペットを飼う人がふえたんだって。

生き物とのくらしはたいへんだけど、

きっとそれ以上のものをきみに返してくれるはず。

今回は「生き物と暮らす」をテーマに本を紹介するね。

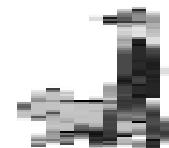


## 「オオカミから犬へ!」人と犬がなかよしなわけ (EK7)

ハドソン・タルボット／作・絵 真木 文絵／訳 岩崎書店



ずーっと昔、犬なんて動物はいなかった。群れで生きるオオカミのなかに、人と心を通わせていっしょに生活するものが現れた。人間と深い友情で結ばれた「犬」のはじまりの物語。



## 「おいでフレック、ぼくのところに」(JS1)

エヴァ・イボットソン／著 三辺 律子／訳 偕成社

ずっと犬がほしかった。夢がかない、犬を選びに行ったハルは、おてがるペット社でフレックと出会った。おたがいに、ひと目でかけがえのないものだと感じてた。ところが、フレックはたった三日間だけのレンタル犬だった。こんなこと許せない。ぜったいフレックを取りもどすぞ!



### 「シロクマが家にやってきた!」(JS7)

マリア・ファラー／作 ダニエル・リエリー／絵  
杉本 詠美／訳 あかね書房



「この家を出て、二度と帰ってこない!」と飛び出したアーサーの目の前にとつ然シロクマが出現!?とりあえず家出は後回しだ。シロクマをこっそり自分の部屋に入れてみたら、なんだかすごくいいやつみたい。言葉は話さないけど、ユニークなシロクマが家族にいらだつアーサーの心を解きほぐしていく。

「シロクマが空からやってきた!」「シロクマといっしょにお引越し!」「シロクマが嵐をこえてきた!」もあります。ぜひ読んでみてね。

### 「大きなたまご」(JMA)

オリバー・バターワース／作  
松岡 享子／訳 岩波書店



ネイトの家のめんどりが自分と同じくらい巨大な卵を産んだ。めんどりを手伝って日に何度も卵の向きを変えてやっているのに、なかなか卵はかえらない。世話を始めて6週間、卵から出てきたのはなんと恐竜だった。

アメリカじゅうの科学者がつめかける中、ネイトは古生物学者のチーマー先生の力を借りて、自分で恐竜を飼うことに決めた。

### 「イグアナくんのおじゃまな毎日」(JF4)

佐藤 多佳子／作 はらだ たけひで／絵  
偕成社



「恐竜を飼ってみる気はないかい?」徳田のジジイが樹里にプレゼントしたのは、イグアナだった!「生きている恐竜だ」なんて大ウソじゃん。ママは怒るし、パパはちゃんと世話をしろと言う。真冬の朝6時にイグ

アナの食事作り。飼育テキストを手に悪戦苦闘の毎日が始まった。

### 「消えたレッサーパンダを追え!」

警視庁「生きもの係」事件簿(J3174)

たけたに ちほみ／文  
西脇 せいご／絵 学研プラス

「ホウシャガメがぬすまれた!」「キツネザルがいない!」動物園や研究所から次々と盗難報告が入ってくる。盗まれた動物を探せ!助けを呼べない生きものたちを守るんだ。密りょうに密輸、生きものにかかわる事件を警視庁「生きもの係」が追いかける!



### 「クリスマスの猫」(JB4)

ロバート・ウェストール／作  
ジョン・ロレンス／絵 坂崎 麻子／訳 徳間書店

キャロラインがクリスマスを過ごすことになった牧師館は、寒くてまるで刑務所のように。家政婦さんは意地悪で、外に行くことも禁止された。古い馬屋にいた猫と、へいを乗り越えてやってくる男の子だけがなぐさめだった。そんなある日、猫が子どもを産むことに。寒い小屋では子猫たちの命があやうい。なんとかして助けなきゃ。



### 「珍獣ドクターのドタバタ診察日記」

動物の命に「まった」なし!(J6494)

田向 健一／著 ポプラ社

田向先生の病院には毎日いろいろな動物がやってくる。ペットは飼い主にとって大切な家族だから、病気やけがの治りょうだけではなく、飼い方の相談にのることもあるんだって。そんな先生のモットーは、どんな動物でも診察することと、命にまっすぐ向き合うこと。さて、今日はどんな動物と出会えるかな。



「子どものときに読みたい本100冊」(さやまの100冊)は狭山市の教育委員会がおすすめしている本です。図書館ではこのマークが目じるしです。ぜひ、読んでみてね。